

## 第3回水木しげるロードリニューアル基本計画・基本設計検討委員会 議事概要

日時 平成26年11月5日(水) 13:30~14:45  
場所 境港市民会館 第1会議室  
出席者 別紙

### 1. 開 会

### 2. 委員長挨拶

本日は、各部会の意見を委員会の意見としてまとめ、堀教授に申し入れ、修正案を出していただくということを目的に議論していただく。

### 3. 基本設計原案に対する各部会意見の報告

#### ○道部会長

資料1：道部会検討結果一覧(①、②)に基づき説明。

#### 補足事項

- ・ブロンズ像等の再配置は、水木プロの意見も尊重する。
- ・舗装のコンセプトは、昭和レトロ調とする。横浜の元町のような色彩豊かなものは、なじまない。
- ・ライトアップについては、一人のプロデューサーのもとに行うべき。

#### ○沿道部会長

資料2：沿道部会検討結果一覧(③)に基づき説明。

### 4. 意見交換

#### ○委員

沿道部会の「まちなみ」とは、どういうスタンスでどうなっていくのか。それには、従わないといけないものなのか。

#### ●事務局

道路の進行を見つつ、修景を並行して議論していくというご意見だったように思う。テーマとしては、昭和レトロの雰囲気軸を軸にどういうまちの景観であってほしいのかというようなご意見だったように思う。

#### ○副委員長

昭和レトロを大きな基調テーマとするのであれば、今風のものではなく、昭和レトロの雰囲気の高いものを基調としておかなければならないだろうという考え方。今ある店や家を変えるのは、なかなか出来ない。今後、作

るものに一定のルールを定めて、こういうものを作ってほしいとか、こういうふうに協力してほしいとかという思いである。

○委員長

「まちなみ」については、定まらないところもあるので、この委員会では、堀案に対する意見に関する議論をしたいと思う。

○委員

道と沿道で交差する部分もあるが、委員会の意見として基本的な部分ははっきり決めないといけない。

沿道部会の検討結果には、一定のルール・方向性を決めるとあるが、誰がいつ決めるのか。抽象的なものを出しても議論にならない。

●事務局

例えば、「辰巳屋」や「理容いしたに」のような昭和調がいいというのは沿道部会で決まっている。これは、建物を建て替える時や店構えを変える時などにやってもらうわけで、色や看板など詳細についての細かいルールは、これから決めていく必要があるということ。

○委員

決められることは、この委員会で決めてしまったほうがいい。電柱について、道部会では南北に振りましょうという意見だが、沿道部会は、そのまま残すということか。

○副委員長

そのままあるので、あればということ。移すことは想定していなかった。

○委員

それでは、移設ということでどうか。

○副委員長

ぜひ、お願いしたいと思う。

○委員

梶田委員が言われるのは、こちらの意見は、こうですよ出すべきということ。警察との話もあるが、現時点での意見を出さないと次のステップに進めない。

○委員

荷捌きスペースについては、減らせるものならそのほうがいいと思う。どこどこを減らした方がいいというのを具体的に決めないといけないのではないか。

○委員長

それでは、整理したいと思う。電柱は、南北に移設するという事で良いか。

(一同同意)

荷捌きスペースは、減らすということで良いか。

○委員

大正町は現在2カ所だが、これ以上減らすのは難しい。最低2カ所は必要。

○委員長

それも含め、位置については地元の関係者に決めていただき、委員会には事後報告ということでいかがか。

(一同同意)

●事務局

今回が最終決定ではないので、今後決めたことについては、また要求が可能。

○委員

「まちなみ」の方向性については、まちづくりの条例みたいなものをきちんと決めましょうということをお話した。中身については、今後計画を見ながら地元と協議していこうということ。ルールを決めることは時間がかかる。

○委員

堀教授の提案する横浜元町のようなハイカラな「まちなみ」にするという意見には反対。昭和レトロ調で方向を決めるべき。マンガやアニメのゲゲゲの鬼太郎で出てくる道が基本と思う。昭和レトロは譲れないと堀教授に伝えるべき。

○委員

昭和レトロという概念も曖昧。昔風の昭和的な横浜のハイカラとは違う「まちなみ」というイメージをはっきり打ち出すべき。堀教授の提案する昭和レトロとの違いを明示すべき。

○委員

豊後高田市のような昭和レトロが良いのではないか。アンケート結果を見ても、昔風の建物が良かった、心が癒されるという意見が多い。横浜のような都会的な道に妖怪ブロンズ像がいてもそぐわない。

○委員

3月に豊後高田市の方に話を聞いたが、マスコミには多くとり上げられたが、ビジネスに繋がっていないということだった。ただし「まちなみ」は参考になると思う。

○委員

堀教授の提案するブロンズ像をテーマごとに分けて固めるという意見には反対したい。一体一体触って写真をとるのが良い。

○委員

沿道部会でも、ブロンズの配置はバラバラでいいという意見になった。

○委員

先週、福島県の大内宿に行った。まちづくり憲章があり、非常に参考になった。また寺にある丘から大内宿のまちを見下ろすと非常に景色が良かった。水木しげるロードも上の方から全体をみれる装置を作ったらいいと思う。道路にある鳥居も良かった。

○委員

歩道を15センチマウントアップするということだが、以前、水木しげるロードがちょっとした雨で水浸しになったことがある。15センチ下げてもらった方が水の流れが良くなる。そのあたりを考慮してほしい。

●事務局

歩道の高さを軸にして車道を15センチ下げる。間口は今の高さを保って車道を下げるということ。排水も一緒に検討に入っており、車道部分に新たに排水を設けることを考えている。

○委員

松ヶ枝町の車道に溜桝があるが、毎年みなと祭の出店業者がそこに後の片付けを捨てており、異臭がして困っている。今年もバキュームで取ってもらった。考えてもらわないといけない。

●事務局

今年度中に下水道が全線通るため、下水道に流せるような桝を検討する。車道については、溜桝でなく、連続的な排水設備を施工する。

○委員長

排水問題は、実施設計で配慮していただきたい。

本日のご意見を事務局でまとめてもらいたい。

●事務局

本日の委員会の決定事項について、ご確認とお諮りをいただきたい。

1. 電柱は南北の道へ移設。基本的には横断電線も取る。
2. 昭和レトロについて、「まちなみ」は、境港にあった昭和を崩さないように。
3. ブロンズ像の配置は、滞留スペースに固めず分散型とする。
4. 荷捌きスペースは、大正町以外は減らす。1カ所を軸とし、個別の変更は可能とする。
5. まちづくり条例等のルールを決める。
6. 排水設備については、今後議論していく。

- 委員長  
本町の歩行者天国等について地元で調整していただきたい。
- 委員  
歩行者天国について、本町アーケードでは、今のままの方が良いという意見だったが、また検討してみたい。  
以前、時間制の歩行者天国を実施したが、結局元に戻ってしまった。  
側溝について、流れが悪く、蓋が滑りやすいのでよろしくお願ひしたい。
- 委員  
沿道部会の検討結果の補足を行う。松江の堀川沿いの道に施工してある『土』に見える舗装が良いという意見が出た。道部会の方たちにも見ていただき、参考にしてほしい。
- 委員長  
舗装の材料については、次回委員会で議論したい。
- オブザーバー（鳥取県）  
自転車は、車道と歩道のどちらを走らせるのか。安全性は配慮されているか。
- 事務局  
基本的に、自転車は車両のため車道を走らせる。安全面の配慮は、今後の検討課題とする。  
歩行者天国の問題もトータルに道の問題を整理し、委員会に示したい。
- 委員  
長野県北国街道の海野宿は、江戸時代をそのまま残している。入口にルールが書いてあって、一切車両がメインストリートに入れず、車両は脇道を通してしている。自転車も一切通さない。
- 委員  
自転車も一方通行なのか。
- オブザーバー（境港警察署）  
基本的には一方通行であるが、交通の状況にあわせて、今後「自転車は除く」などの対応も検討したい。
- 委員  
駐輪場も整備してほしい。
- 事務局  
荷捌きスペースのようにそういうゾーンを設けるのも一つの案だと思う。  
これまでいただいた意見を整理して、部会、委員会に反映させていただく。
- 委員長  
本日頂いた意見を事務局でまとめて、堀先生に伝えていただきたい。その

他、「まちなみ」は、この委員会で結論を出すのは難しいと思う。これについては、引き続いて意見をいただきたい。

## 5. その他（事務連絡等）

### ○委員長

視察について、今後、参考になる場所があれば、訪問したいと思うがどうか。

（一同同意）

### ●事務局

次回の部会、委員会は以下のとおり

沿道部会	11月18日、19時～	境港市役所第1会議室
委員会	11月25日、13時30分～	境港商工会議所大会議室

以上